

令和5年度 公営企業会計決算概要

企 業 局

- 工業用水道事業会計は、1億7,000万円の純損失（3年ぶりの純損失）
- 水道用水供給事業会計は、12億3,500万円の純利益（2年ぶりの純利益）
- 地域整備事業会計は、16億500万円の純利益（9年連続の純利益）

埼玉県水道マスコット
ウォー太郎



単位：百万円

| | 収 益 | 費 用 | 純利益(△は純損失) |
|------------|--------|--------|------------|
| 工業用水道事業会計 | 1,684 | 1,854 | △170 |
| 水道用水供給事業会計 | 44,183 | 42,948 | 1,235 |
| 地域整備事業会計 | 7,534 | 5,929 | 1,605 |

令和5年度 公営企業会計決算（工業用水道事業）

◎純損失1億7,000万円（維持管理費の増により、純損益、経常損益ともに赤字。経常赤字は24年ぶり）

業務概要

地下水採取による地盤沈下の防止と産業基盤の整備を図るため、工業用水を給水。

○給水区域

草加市、八潮市、蕨市及び戸田市の全域並びにさいたま市及び川口市の一部（工業用水法による地下水汲み上げ規制区域）

○給水事業所数 149事業所（前年度と同数）

○料金単価 22円53銭 /m³

○給水契約水量 6,684万m³

（前年度 6,667万m³ +0.26%）

○企業債残高 6,100万円（前年度比 △36.4%）

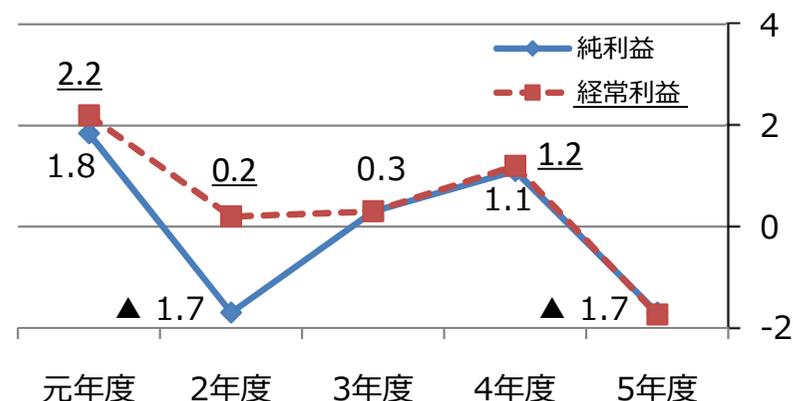
決算概要

単位：百万円

| | 5年度 | 4年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|--------------|-----------|-----------|-------|---------|
| 事業収益 | 1,684 | 1,759 | △75 | △4.3 |
| （うち給水収益） | (1,555) | (1,553) | (2) | (0.2) |
| 事業費用 | 1,854 | 1,649 | 205 | 12.4 |
| 純利益(△は損失) | △170 | 110 | △280 | — |
| うち経常利益(△は損失) | △174 | 116 | △290 | — |

・ 施設の老朽化に伴い修繕費が増加し、維持管理費が2億8,900万円増加した。そのため、純利益は対前年度比2億8,000万円減の1億7,000万円の純損失となった。

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



- ・ 中長期的には、契約水量の減少に伴い給水収益は減少見込。
- ・ 令和2年度及び令和3年度は施設の撤去費が増加したため、純利益及び経常利益が減少した。
- ・ 施設の老朽化に伴う維持管理費の増加により、経常利益、純利益は減少傾向。
- ・ 今後は事業者のニーズに沿った施設規模の適正化やコスト削減を行うとともに、料金改定の検討を進めるなど、経営改善に努めていく。

令和5年度 公営企業会計決算（水道用水供給事業）

◎純利益12億3,500万円（給水収益は0.4%減少したが、減価償却費や動力費の減により、黒字を確保）

業務概要

河川表流水（荒川・利根川水系）を水源として、県内5つの浄水場から水道事業者55団体（58市町）へ水道用水を供給。

- 実績給水量 6億3,419万m³
（前年度 6億3,692万m³ △0.43%）
- 料金単価 61円78銭 /m³
- 企業債残高 966億1,200万円（前年度比 △3.6%）

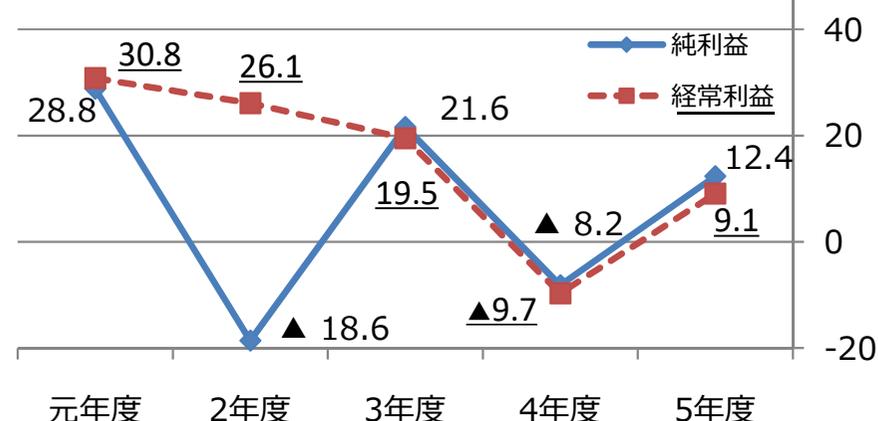
決算概要

単位：百万円

| | 5年度 | 4年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|--------------|------------|------------|----------|----------|
| 事業収益 | 44,183 | 44,452 | △269 | △0.6 |
| （うち給水収益） | (39,181) | (39,350) | (△169) | (△0.4) |
| 事業費用 | 42,948 | 45,269 | △2,321 | △5.1 |
| 純利益(△は損失) | 1,235 | △817 | 2,052 | — |
| うち経常利益(△は損失) | 907 | △967 | 1,874 | — |

・ 給水収益は1億6,900万円減少したが、水利権の一部償却終了による減価償却費の減少や動力費の減少により、純利益は対前年度比20億5,200万円増の12億3,500万円となった。

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



- ・ 中長期的には、給水収益の減少や施設の老朽化に伴う維持管理費の増加により、経常利益・純利益は減少見込。
- ・ 令和5年度は減価償却費や動力費の減少により、事業費用が23億2,100万円の減。
- ・ 動力費は、ウクライナ情勢により、電気料金が高騰した令和4年度と比較すると減少しているが、依然として高止まりの状態が続いており、経営を圧迫している。
- ・ 安全・安心で良質な水の供給のため、高度浄水処理の導入など必要な投資を行う一方、より一層のコスト縮減を行うとともに、料金改定の検討を進めるなど、経営改善に努めていく。

令和5年度 公営企業会計決算（地域整備事業）

◎純利益16億500万円（川越増形地区の産業団地の新規分譲により、9年連続の黒字決算）

業務概要

地域経済の活性化や雇用機会の拡大などを目的に、産業団地等を造成。

○事業実施地区（8地区）

- ①行田富士見地区 ②嵐山花見台地区 ③富士見上南畑地区
④鴻巣箕田地区 ⑤寄居桜沢地区 ⑥羽生上岩瀬地区
⑦久喜高柳地区 ⑧吉見大和田地区

決算概要

単位：百万円

| | 5年度 | 4年度 | 増減額 | 増減率(%) |
|----------|-------|--------|--------|--------|
| 事業収益 | 7,534 | 15,427 | △7,893 | △51.2 |
| （うち分譲収益） | 6,780 | 14,675 | △7,895 | △53.8 |
| 事業費用 | 5,929 | 11,879 | △5,950 | △50.1 |
| 純利益 | 1,605 | 3,548 | △1,943 | △54.8 |
| うち経常利益 | 1,674 | 3,666 | △1,992 | △54.3 |

○団地別分譲収益

| 団地名 | 分譲収益 | 分譲区画 |
|------|------------|------|
| 川越増形 | 67億8,000万円 | 2区画 |

○産業団地貸付収益

3億8,200万円 6団地20社

○ゴルフ場施設貸付収益

吉見、大麻生ゴルフ場 3億3,200万円

純利益及び経常利益の推移（単位：億円）



- ・地域の均衡ある発展や雇用の創出を図るための産業団地整備を進めていく。